「宮城県バイオマス・未利用熱を活用したクリーンエネルギー事業化調査検討事業」に関する

木材関連事業者アンケート調査

|  |
| --- |
| 本事業においては、県内事業者の新エネルギー分野への進出機会を創出するため、バイオマス資源（木質系、家畜ふん尿、下水汚泥、食品廃棄物、廃食用油を対象）によるエネルギー利用や高い賦存量が期待できる未利用熱（温泉熱、地中熱を対象）の利用に関して、当該エネルギー事業の経済性や現在の賦存量及び利用可能量、技術的課題等を調査し、県内において実現可能な事業スキームを構築していくことを検討しております。  この事業の中では、県内において、モデル地域を選定し、実現性の高い事業スキーム、事業主体及び事業評価（事業採算性）等の検討を進めることとしており、本調査において、モデル地域の調査へのご協力への可否をお聞きしております。  つきましては、今後作業を進める上で参考とさせていただきたく、率直なご意見をお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。  ※このアンケートの集計分析は、委託業者であるランドブレイン株式会社が行います。また、アンケートの結果は本業務にのみ使用します。  平成２８年７月  宮城県 環境生活部 環境政策課 |

**記入にあたってのお願い**

【実施主体】宮城県　環境生活部　環境政策課　環境産業振興班　　伊藤・菅原

TEL：022-211-2664　/　FAX：022-211-2669

E-mail：kankyoi@pref.miyagi.jp

【返信・問合先】（委託業者）

ランドブレイン株式会社　仙台事務所　　担当：井芹・黒川

TEL：022-716-0633　/　FAX：022-716-0636

E-mail：cleanenergy\_miyagi2016@landbrains.co.jp

○ご記入いただいた調査票データは、**9月26日（月）**までに、下記の返信先メールアドレス、郵送、インターネットによる回答のいずれかで送信してください。

**回答期限・返送方法**

○各事業主体内でご意見等を取りまとめの上、御回答ください。また、内容はできるだけ詳細に記入してくださるようお願い致します。

※参考資料等がありましたら添付してください。

石油系燃料転換によるCO2削減の観点や、平成24年7月から始まった「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を背景に、木質バイオマス資源による発電施設や熱利用施設が、全国各地にて稼働・計画が進んでいます。貴事業所の対応・見方などをお尋ねします。

　木質バイオマス資源による発電・熱利用の事業や計画についてお聞きします。

問１　貴事業所での木質バイオマス資源による発電施設及び熱利用施設（ボイラ等）の導入状況を教えてください。ある場合はその設置場所、設備容量、導入時期などをお教えください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 選択肢 | 設置場所  （住所等） | 設備容量  （kW、MJ等） | 導入時期  （西暦） |
| ①**発電**  施設 | １．既に稼働中  ２．建設中ないし実施決定済みで未着工  ３．計画中・検討中  ４．過去に計画があったが未導入  ５．わからない  ６．その他 |  |  |  |
| ②**熱利用**  施設 | １．既に稼働中  ２．建設中ないし実施決定済みで未着工  ３．計画中・検討中  ４．過去に計画があったが未導入  ５．わからない  ６．その他 |  |  |  |

※複数ある場合は別添の追加欄（問１用）にそれぞれお書きください。

問２　現時点において、貴事業者の施設での木質バイオマスエネルギーの活用について、ご興味および活用意向はありますか。１つに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．木質バイオマスエネルギーに興味や活用意向がある  ２．木質バイオマスエネルギーに興味や活用意向はない  ３．わからない  ４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問３　問２にて「１．」と回答した方に伺います。木質バイオマスエネルギーについて、どのような利用にご関心がありますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．給湯　　　　　　　　　２．冷暖房　　　　　３．農業施設（ハウス等）  ４．製材乾燥利用　　　　　５．発電　　　　　　６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |

問４　木質バイオマスエネルギーを活用するにあたって、現在および将来も含めて課題となることがあれば、お教えください。

|  |
| --- |
|  |

問５　問１で「１．」「２．」「３．」、問２にて「１．」と回答した方に伺います。木質バイオマス資源による発電及び熱利用（ボイラ等）への参入の主な契機、または参入を考える主な契機はどのようなことですか。あてはまる番号をすべて選んで、番号に○をつけて下さい。

|  |
| --- |
| １．固定価格買取制度により市場拡大が見込める（見込めた）ため  ２．企業の社会的責任（ＣＳＲ）、地球環境保全などの社会貢献のため  ３．関連する技術や設備を保有している（いた）ため  ４．取引先企業からの要請がある（あった）ため  ５．公的支援策が利用できる（できた）ため  ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　木質バイオマス資源による燃料供給についてお聞きします。

問６　貴事業所において、木質バイオマス資源による発電施設及び熱利用施設（ボイラ等）への「燃料用材」の供給、もしくは供給を計画していますか。あてはまるものに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．供給中または供給を計画している  　　　　　　　　　⇒　全体供給量（計画量）：　　　　トン/年（販売単価：　　　　円/トン）  ⇒　供給先事業者Ⅰ：  ⇒　供給先事業者Ⅱ：  ⇒　供給先事業者Ⅲ：  ２．供給していない  ３．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問７　問６で「１．」と回答した方に伺います。燃料供給先における発電施設及び熱利用施設（ボイラ等）の導入状況を教えてください。ある場合はその設置場所、設備容量、導入時期、各供給量などをお教えください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供給先Ⅰ | 選択肢 | 設置場所  （住所等） | 設備容量  （kW、MJ等） | 導入時期  （西暦） | 供給量  （トン／年） |
| ①**発電**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |
| ②**熱利用**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供給先Ⅱ | 選択肢 | 設置場所  （住所等） | 設備容量  （kW、MJ等） | 導入時期  （西暦） | 供給量  （トン／年） |
| ①**発電**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |
| ②**熱利用**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供給先Ⅲ | 選択肢 | 設置場所  （住所等） | 設備容量  （kW、MJ等） | 導入時期  （西暦） | 供給量  （トン／年） |
| ①**発電**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |
| ②**熱利用**  施設 | １．供給中  ２．供給検討中 |  |  |  |  |

※追加のある場合は別添の追加欄（問７用）にそれぞれお書きください。

問８　問６にて「１．」と回答した方に伺います。貴事業所から出荷する際の、燃料の形態としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．原木　　　　２．チップ　　　３．製材廃材　　　　４．その他（　　　　　　　　） |

問９　問６にて「１．」と回答した方に伺います。燃料供給事業への参入の主な契機、または参入を考える主な契機はどのようなことですか。あてはまる番号をすべて選んで、番号に○をつけて下さい。

|  |
| --- |
| １．固定価格買取制度により市場拡大が見込める（見込めた）ため  ２．企業の社会的責任（ＣＳＲ）、地球環境保全などの社会貢献のため  ３．関連する技術や設備を保有している（いた）ため  ４．取引先企業からの要請がある（あった）ため  ５．公的支援策が利用できる（できた）ため  ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問１０　燃料供給にあたり貴事業所における課題（懸念事項）としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．安定的な供給量が確保できない  ２．要求（提示）される販売コストがあわない  ３．組織の体制上の課題  ４．含水率調整が課題  ５．販売協定に伴う制約が課題  ６．発電・熱利用事業自体の将来性が不安である  ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）  ８．課題（懸念事項）はない |

問１１　貴事業所の燃料供給について、現在の供給量以上に、貴事業所で供給することは可能ですか。あてはまるものに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．まだ供給を増やすことは可能である　　⇒　供給量：　　　　トン/年  ２．これ以上の供給は難しい  ３．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　木質バイオマス資源を活用している・活用意向のある方にお聞きします。

問１２　今後、これらのバイオマス資源や未利用熱の利活用を進めるためには、どのような支援策が必要ですか。当てはまるものすべてに〇を付けてください。

|  |
| --- |
| １．融資（研究・開発・設備導入に対する融資）  ２．補助（研究・開発・設備導入に対する補助）  ３．助成制度（未利用木材の搬出支援補助）  ４．燃料用山林の確保（広葉樹林への森林経営計画の策定等）  ５．情報発信（講座・セミナーの開催）  ６．情報発信（メールや紙面等での発信）  ７．マッチング（技術シーズとニーズのマッチング）  ８．導入先（需要施設・土地等）の情報提供  ９．補助、情報発信、産学官とのマッチング等への環境産業コーディネーターの派遣制度  １０．技術、ノウハウ、販路開拓等へのコンサルタント派遣制度等  １１．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　モデル地域の調査へのご協力のお願い

|  |
| --- |
| この事業の中で、宮城県内において、実現性の高い事業スキームの検討に加え、モデル地域を選定し、検討を進めることとしております。  選定したモデル地域においては、バイオマス資源の供給量や、需要地域・施設の可能性調査を行うとともに、事業主体の検討や事業収支シミュレーションなどの試算を実施し、モデルとしての事業スキーム等を検討していきます（調査委託コンサルタントが実施）。  ご協力いただける事業者様においては、対象地域の抽出にご協力いただき、関係される事業者との調整（紹介等）、事業スキーム及び実現可能性（事業採算性）等の検討に関しての情報提供など、調査へのご協力をお願いする予定です。 |

問１３　現時点において、本事業の対象地域（モデル地域）として、調査に協力意向はありますか。１つに○を付けてください。

|  |
| --- |
| １．調査に協力できる  ２．調査に協力できない  ３．わからない  ４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　貴事業所についてお聞きします。

問１４　貴事業所名をお教えください。

|  |
| --- |
|  |

問１５　窓口となるご担当者の所属部署名と氏名、連絡先等をお教えください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属部署名 |  | 氏名 |  |
| 電話番号 |  | | |
| FAX |  | | |
| メールアドレス |  | | |

※県及び委託業者から、アンケート調査の回答内容等に関して、御連絡させていただく場合があります。

以上質問は終わりです。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。